



公園で安全に遊ぶための 約束を身につけさせましょう

10月になりました。「スポーツの秋」などということもありますが、この季節は風も爽やかで、屋外で体を使って遊ぶには気持ちの良い気候です。子どもたちが、けがや事故、事件に遭わないように、公園で安全に遊ぶための約束を身につけさせましょう。

やくそくを まもって たのしく あんぜんに こうえんで あそぼう

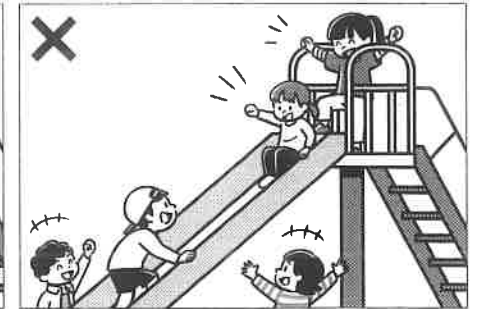
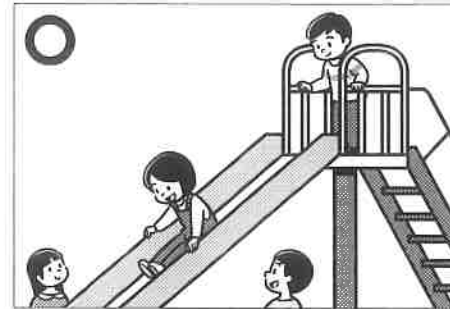


こうえんで あそぶ ときに いちばん たいせつな ことは
こどもだけで いかない こと。かならず おうちの おとなの
ひとから みえる ばしょで あそぼうね。

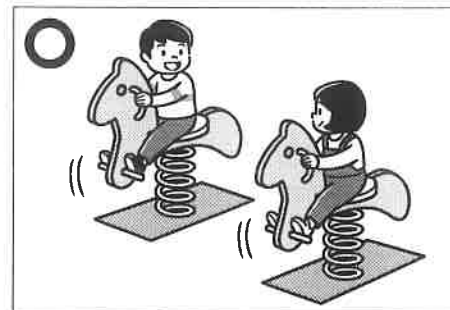
保護者の方へ 安全の基本は、子どもだけにしないことです。「いつも行く公園だから」「家のすぐ近くだから」と油断せず、必ず保護者が同行するようにしてください。また、保護者の目が届かないところでは、子どもが不審者などに遭う危険性がありますので、保護者は子どものそばにいて、しっかり見守ってください。



くさりを しっかり つかみ すわって のる。ふたりのりや
たちこぎは しない。じゅんばんは さくの そとで まつ。



ひとりずつ じゅんばんに すべる。すべりだいの うえで
ふざけたり はんたいがわから よじのぼったりは しない。



もちてを しっかり つかみ すわって のる。ふたりのりや
たちのりを したり らんぼうに ゆらしたりは しない。

保護者の方へ 安全に遊具で遊ぶためのルールを子どもたちに伝えて、しっかり守らせてください。保護者が危険だと感じた時は、すぐにやめさせてください。

11月号では「明るいうちの帰宅」について取り上げます。